

被災3国に慰霊碑建立

スマトラ沖地震の被災地支援を続ける国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市榴津）の菅波茂代表は八日、津波で多数の死者が出たインドネシア、インド、スリランカの三カ国に慰霊碑を建立する構想を明らかにした。

AMDA代表が構想

復興支援 第一歩に

年暮
に除
周
まで
1

菅波代表によると、建立予定地といい、その際に流されてきた巨は、今回の地震と津波で二十万人、石を慰霊碑に加工する案が挙がっを越える死者、行方不明者を出している。

たインドネシア・スマトラ島北部 十二日にAMDAが岡山市で開アチエ州と、インド南部のタミル 国支部長らと協議し、正式決定。ナドゥ州、スリランカ東部の三カ 被災一周年の十二月二十六日まで直後から巡回診療など救援活動を行ってきた。

慰霊碑の具体的な設計は今後、 活動の一つ。慰霊碑の建立をその決めるが、スリランカでは、多くの子どもたちが津波で亡くなった 第一歩としたい」と話している。

スマトラ沖地震